

# 静浦バイパス1号トンネル通信

第2号

平成27年3月 発行：鹿島・集JV

## はじめに

地域の皆さまには、日頃より工事にご協力いただきありがとうございます。  
静浦1号トンネルの工事を行なっている、鹿島・集特定建設工事共同企業体です。  
トンネルの工事は山の中を掘る作業です。工事の状況をご理解いただくために、工事の進捗やトンネルの中の様子をご紹介しますトンネル通信を発行しています。今回は第2号です  
2月から、トンネルを掘る作業を始めました。3月の主な作業は、坑口付と呼ばれる、トンネルの入り口部分を補強しながら作りトンネルを掘削する作業と、掘った土砂を運搬する作業です。  
一日でも早くトンネル工事が貫通するように工事を進めますので、今後ともよろしくお祈りします。

## 下香貫工事ヤードの紹介



トンネルを掘削する前に、いろいろな準備をします。  
まず、工事の騒音を少なくするために、防音ハウスを設置しました。トンネル掘削は、この仮設の防音ハウスの中で行います。  
次にヤードの周りに防音壁を造りました。作業の音を小さくする効果があります。  
ホコリがたたないように、車両が通行する走路を舗装しました。  
ようやく準備が整いましたので、2月下旬からトンネル掘削を開始しました。  
防音ハウスの中で、少しずつトンネル工事が進んでいます。

## 土砂運搬のようす

トンネルを掘ると、大量の土砂が外に出ます。3月初旬から、土砂を運搬する作業が始まりました。音や振動が少なくなるように、国道414号交差点まで、ゆっくり走ります。  
ダンプトラックは、トンネル工事名と番号を書いた青いゼッケンを付けて走っています。  
運搬先は、二葉建設の足高工場と大仁工場です。  
歩行者の方や一般車を優先して、交通ルールを守って、安全運転で運搬します。



## トンネル掘削のようす

トンネルを掘っているとき周囲が崩れないように、先にトンネルの周りを固めてから、坑口付けと呼ばれるトンネルの入り口部分を造りました。支保工と呼ばれるトンネルを支える骨の役割をする鋼材を設置し、そのあと、すぐに固まるコンクリートを吹き付けて、トンネルのかたちができあがります。  
入口部分は軟らかい土砂がたまっているところなので、トンネルが上手に掘れるかドキドキです。  
写真のように、ちゃんとトンネルのかたちができあがりました。



## 下香貫工事ヤード平面図



## 工事の概要

発注者：静岡県 沼津土木事務所  
施工者：鹿島・集特定建設工事共同企業体

(仮称)静浦1号トンネルは、国道414号の静浦バイパスの一部として、沼津市下香貫地区と大平地区を結ぶ全長1,177mのトンネルです。本来4車線で計画していますが、事業効果の早期発現のため、今回暫定的に南側線2車線での整備を行ないます。  
地山が強固な岩盤であるため、掘削には発破工法を用いる予定です。

現場入口に事務所を開設しました。  
作業をしているときは、JV職員がおりますので、お気づきの点がありましたら、事務所までご一報ください。

連絡先  
鹿島・集特定建設工事共同企業体  
現場代理人 上南(うえなみ) 隆  
お問い合わせは、お気軽に 副所長の 天野 まで  
沼津市下香貫塩満1766 (電話)055-935-5896